

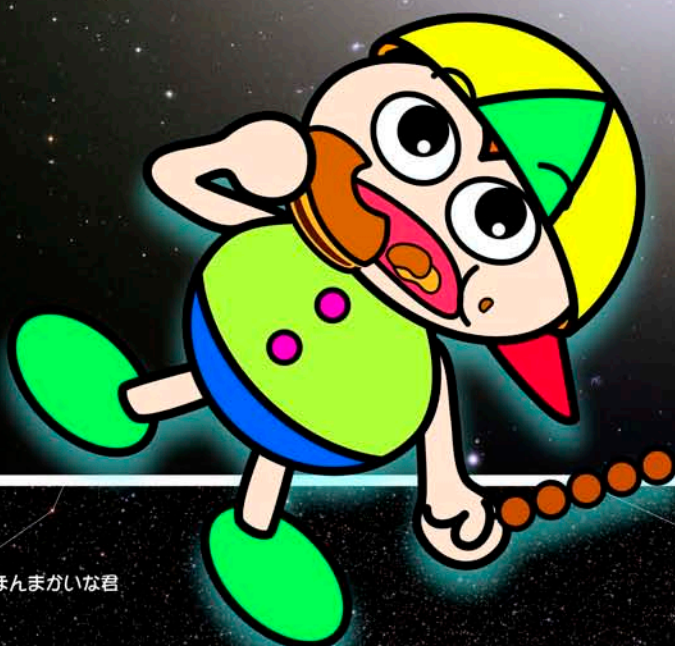
よもやま学園

てんもんぶ
天文部

春の星空編



よもやまかたる君



ほんまがいな君



わがらんちゃん

©NASA, NOAO/AURA/NSF

今夜もよもやま学園天文部の3人が、
星見会の打ち合わせをしています。
お花見の後でしょうか、さくらの花につられて
らんちゃんとかいな君は、俳句を思いつきました
が、部長のよもやまかたる君は、
そんなことより星を見るようにといいます。

(約 24 分)

よもやま学園

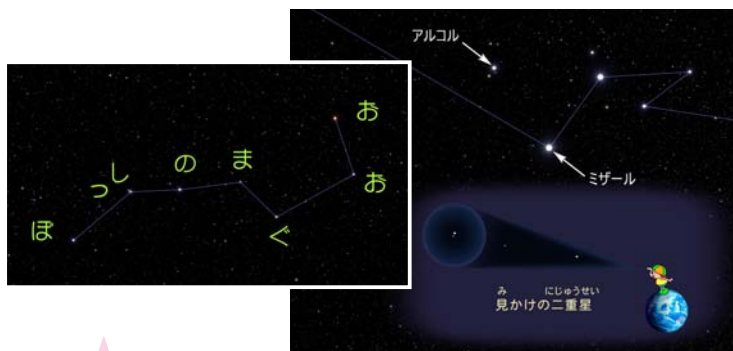
天文部

春の星空編



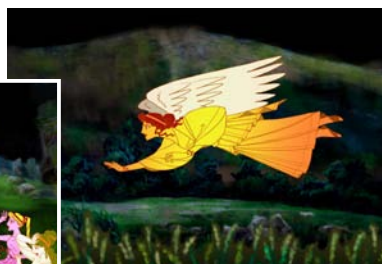
双子か他人か? ～二重に見える星のひみつ～

夜空の星は1個ずつ輝いているように見えるけど、実は2個の星が周り合っていることもあるんです。その反対に、2個に見えるけど実はぜんぜん関係なかったりする場合も…。北斗七星を例にわかりやすく説明しましょう。ところで、北斗七星って星座でしたっけ?



ギリシャ神話でちょっと一服 ～おとめ座の神話～

冥界（めいかい）の王ハデスに、愛する娘のペルセポネを連れ去られた女神デーメテルは、悲しみのあまり落ち込んで仕事をする気がなくなってしまいました。ギリシャ神話ってかわいそうな話が多いんです。ハッピーエンドに向かっていても、何か落とし穴があったりして…。かいな君は、ハッピーエンドが好きなんです。
らんちゃん是一所懸命にお話するのですが、そこにかいな君がまた口をはさみます。



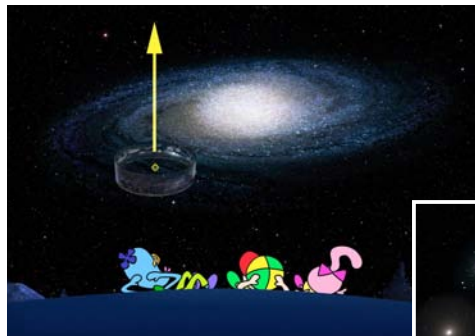
春の夜空は宇宙ののぞき窓?

～おとめ座銀河団・かみのけ座銀河団～

春の夜空って少し寂しい気がしませんか?…なんてことをよく言われますが、それはなぜでしょうか。

どうやら天の川が関係しているみたいです。

でも、夜空が寂しいという事は良いこともあるみたい。3人は春の夜空を楽しみますが、その先に大きな疑問がわいてきます。



エンディング（星見会を振り返って）

らん 「数千億の星々で作られる銀河があゝ・・・」

かいな 「この知識、何かの役に立つっすか?」

らん 「何かの役に立つのかしら?」

かたる 「実際に夜空を見上げた時、今までとは違う想いが浮かぶと思うよ。」

今夜も宇宙の色々な疑問と出会ったこの3人。彼らはいったい何者なのでしょう。なぞはなぞのまま、夜はふけていくのでした。

